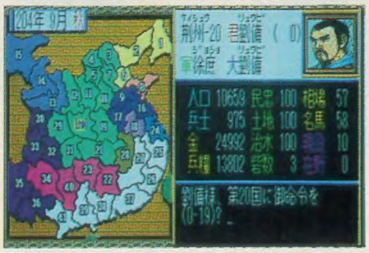
三國志 II

攻略ガイドブック

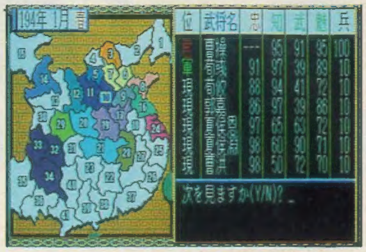


歴史シミュレーションゲーム

猛将が地を駆ける、知将が策をめぐらす、君主が指揮をとる、戦いはいつ果てることなく続く。350人余りいる武将を操り、天下の覇者を目指せ。あの三国志がよりグレードアップして登場だ。数々のコマンド、いくつもの計略、外交、援軍、一騎討ち、あきることないゲームシステム、おいしいところを、あますことなくお見せしよう。



⇧外交、計略、一騎討ちとそのどれもがおもしろい



⇧部下の能力をしっかり把握することも重要だぞ

基礎編 これだけは知っておこう

ゲームは20種類の基本コマンドを駆使して進めていく。20種類といってもその1つ1つから、またいくつにも分類されている。つまり20種類に集約されているといったほうが正しい。実際は20以上あるということだ。その場その場に応じて、的確な命令を出していくことが大切。シナリオは6つ。どのシナリオからでも始められるぞ。ゲームクリア条件はどのシナリオも全41か国を統一すればいい。

—コマンドは20種類—



⇧コマンドは20に集約されている。実際は20どころではない。コマンド内容はしっかり覚えよう

—全41か国を統一—



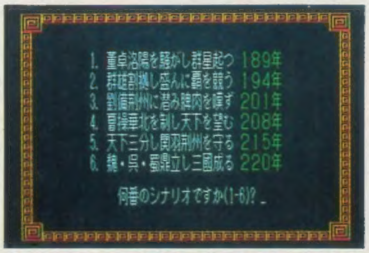
⇧敵と戦って勝てば領地が増える。負けることも……

—成人して配下に—



⇧選んだ君主によってかなり難易度が違ってくる

—シナリオは6つ—



⇧シナリオは6つ。前作『三國志』では5つだった



三国志を知らない人のために

三国志とは今から約1800年前の中国の物語。日本の戦国時代のように、毎日が戦いだった。争いはまず、黄巾賊の暴逆から始まった。張角、張梁、張宝の三兄弟が思うがままに暴れまわった。俗にいう「黄巾の乱」である。「黄巾の乱」が鎮圧され、次に董卓が暴走し始めた。董卓は献帝を擁し、悪の限りをつくした。しかし部下の呂布の裏切りや、曹操、袁紹が中心になってこれを鎮めた。董卓がいなくなり、群雄割拠という状況に。ここで他の英雄より頭ひとつ抜け出したのが曹操である。彼は有能な人物を好んで配下にしてきた。だから曹操の周りには常に優秀な人物がいた。曹操は袁術、呂布、袁紹、劉表、馬騰とその一族をことごとくやぶっていく。天下の半分は曹操の手中に。日の出のような勢いだ。その時ライバルの劉備はいまひとつ伸び悩んでいた。しかし諸葛亮孔明を軍師にむかえると、メキメキと頭角を現してきた。いっぽう孫権も地味ながら着実に力をつけてきた。そして「赤壁の戦い」。劉備、孫権が共同して曹操をやぶる。これによって3者の立場は均等になり、絶えず3国の争いが続いていくのである。


⇧映画「三国志」の一場面。広大な中国大陸を舞台に幾多の名勝負が繰り広げられる、それが三国志

＊武将の読みはP8以降を参照してください。

基本システムを頭にたたきこもう!!

いくら有能な武将をたくさん集めても、それをうまく使えなければ、君主失格だ。君主たるもの、しっかり部下の能力を把握して、的確に命令を出していくことが大切。しかしそのまえにもっと大事なことがある。ゲームシステムである。ゲームの基本システムが分からなければ、何にもならない。ここではその基本システムについて学んでいくことにしよう。

●軍　師

軍師は君主の出す命令に対して、助言をあたえてくれるんだ。これはかなり参考にできる。助言の正確度は知力の高低によって変わってくる。知力80以上の武将なら誰でも軍師になれる。



⊙軍師の助言だ。知力が80以上の武将は軍師になれる。知力が高ければ高いほど、正しいことを言ってくれる

●外交馬

他国と外交、または人材登用などを行うときは、その使者が全国マップ上を移動する。これが外交馬と呼ばれるものだ。この外交馬、通常は赤色だが、その使命を果たすまえに失敗すると、色が青に変わるんだ。



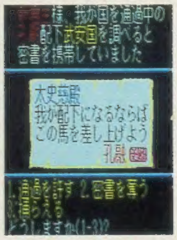
⊙全国マップ上を馬が移動する

●密書発見

他国の外交馬が自分の領地を通過するとき、たまにその使者を捕まえて、密書の中身を見ることができる。その武将を捕らえることもできるが、たいていは逃げられてしまう。



⊙密書を見ない手はない。とにかく必ず見るようにしよう



⊙こういう内容ならば、即刻捕らえるべし。けしからんヤツだ

●行動力

1か月に出せる命令の回数は、武将の数だけ。つまり1人の武将はひと月に1回だけ、コマンドを実行できる。1人の武将がひと月に何回もコマンドを実行できるわけではないので注意。



⊙白い表示の武将が行動できる。赤い表示は行動済の武将。ピンクはけがや病気で行動不能を表している

●イベント

月の始めには、たまにイベントが起こる。このイベント、いいことはないがそれが敵国に起これば、逆にこちらにとってはいいことになるわけだ。

●いなご



●疫　病



●住民反乱



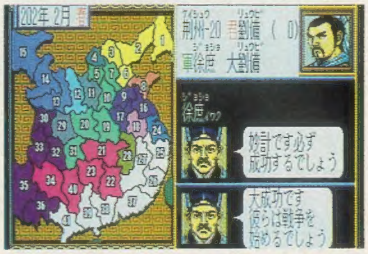
●死の予感



三國志IIの魅力はここにある!!

計　略

5種類の計略が使える『三國志II』。「埋伏の毒」「二虎競食」「駆虎呑狼」「敵中作敵」「偽書疑心」とどれも使いごたえありだ。なかなか成功しないが、決まったときの快感は、プレイしている者にしか分からない。



⊙決まったときのうれしさ。やみつきになりそう

一騎討ち

戦いの華はなんといっても一騎討ち。男と男が力の限りを尽くして戦うその姿は息を飲むほど。『三國志II』では戦闘の1番始めに行われる。一騎討ちには兵力差なんて関係ない。武力だけがたよりだ。ランダムも作用するけど。



⊙武力の低い者が高い者に勝つと、武力がアップする

なんといっても三国志は武将につきる

中国という広大な大陸を舞台に、武将達が駆けめぐっていた時代、三国志。武将達1人1人がそれぞれ胸に野望を抱き、戦っていた。そう三国志は武将がすべてだといっても過言ではない。ゲームでも同じこと。各武将は、様々なパラメータで、はっきりと個性づけられている。



⊙劉備、関羽、張飛の3人



⊙乱世の奸雄、曹操孟徳



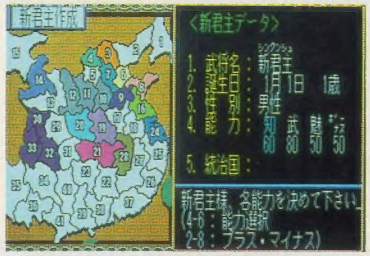
⊙名門豪家の御曹司、袁紹

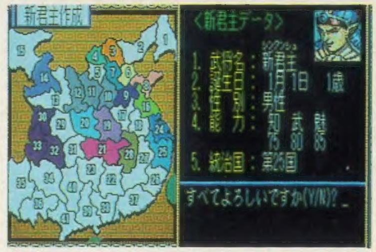
実戦編 新君主でプレイ!!

さてここからは実戦編だ。誰か1人君主を選んでスタート。そこで今回は新君主でプレイすることにした。新君主とは実際の三国志に登場したことのない、仮想キャラのこと。配下に1人も武将がいないので、かなりの上級者モードということがいえる。

☆新君主作成：君主選択画面で、選べる最大番号に1をたしてリターン。たとえばシナリオ1なら12を入力する。

○知力が高ければ内政が有利に進む。武力が高ければ戦闘のときに役にたつ。魅力が高ければ外交がし易い





○知力75、武力80、魅力85にした。スタートは第25国から。三国志に新しい若武者の登場だ!!

189年 1月 とにかく武将の確保に専念

配下に武将が1人もいない。だから1か月に出せる命令も1回だけ。これではぜんぜん国は豊かにならないし、敵に攻めこまれたとき、かなり苦しい。最初は配下武将の確保にあたろう。

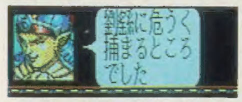
ここでひとつ、新君主作成のときのポイントをあげておこう。年令は若ければ若いほどいい。それだけ寿命が長くなるからだ。次にボーナスポイントの振り分け方。知力、武力、魅力の3つに振り分けるのだが、どの項目もそれなりのメリットはある。しかし魅力が君主として1番大切な項目かな!?



○安定した能力をもつ太史慈に狙いを定めてアタック！とにかく引き抜け！



○賈詡にも白羽の矢を立てた。賈詡は知力だけがズバ抜けて高い



○太史慈を取るのにはけっこう苦労した。常に生と死の境をいっている



○結局、賈詡は配下にできないままに終わってしまったのである



○またもや失敗。8回目のアタックにしてやっと太史慈は我が軍に来た



○呂布はらくに配下に加わった。それだけ裏切り易いということだ

190年 2月 配下に3人の武将を加える

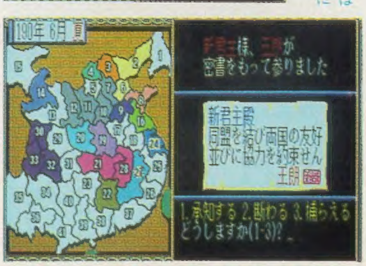
スタートして1年、我が配下にもやっと3人の武将がついた。呂布、太史慈、辛評。少しはラクな状態になったが、それでもまだまだである。もっとガンガン引き抜かなければ。人材確保は三国志には必要不可欠なことなのである。我が配下の武将だが、呂布なんかは武力が高いだけで、知力も魅力も低くぜんぜん使えない。忠誠度が100でも簡単に裏切るし、まったく扱いにくい武将だ。その点、太史慈は武力が高いだけではなく、その他の能力値もまあまあである。けっこう使える武将だ。我が軍は太史慈を中心にして、序盤は進んでいった。



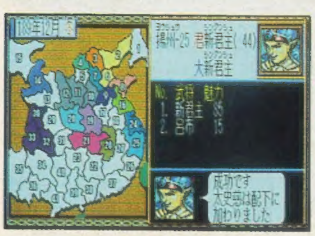
○呂布、太史慈に続き、辛評が配下に加わった。いいぞ太史慈、その調子でいこう



○引き抜いた直後は忠誠度は低い。引き抜かれないように褒美を与えておこう



○王朗から使者が来た。捕らえようとしたが失敗した



○これから太史慈にはガンガン働いてもらわねば

まわってくる順番はランダムなの？

ここでちょっと気になったことがある。各月にまわってくる順番のことなんだが、戦力の低い順にまわってくるらしい。新君主で始めたばかりの頃は、1番最初だった。配下武将が3人になったときは7番目にまわってきた。これをじっくり見ていれば、現在の力の状況がわかる。力関係のめやすになること間違いなしだ。



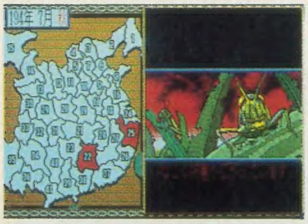
○189年1月、第1番目に順番がまわってきた。新君主しかいない



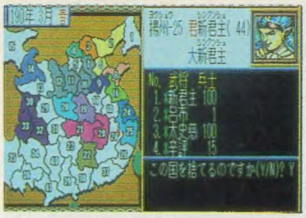
○190年2月、第7番目に順番がまわってきた。配下に3人の武将がいる

190年 4月　天災に悩まされ戦力ダウン

武将もだんだん増えてきて、さあこれからだと思ったとき、いきなり洪水。25国からスタートして27国に移動した直後だった。しかたがなく再び25国に移動。そうしたら今度は疫病に直面。1回ではない。しばらくの間、25国付近に停滞しているのだ。疫病が去ったと思ったら、さらにいなごが……。本当についていない数年だった。



いなごの被害がどんどん広まっていく。あーいなごだ



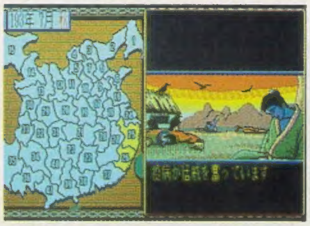
24国で発生した疫病の被害を避けるため、25国から27国へ



疫病は16国のほうへいったのだが洪水の被害に……

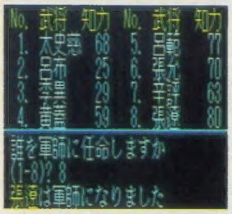
◉いいことなしの天災◉

天災にもいろいろあり、受けてもあまりダメージのないものや、それだけはかんべんといった、いやーなものまで様々。とくに疫病が春に発生すると始末が悪い。春夏秋冬と1年中続くからである。隣接国のどこかに広がっていくのだが、それがどこかわからない。

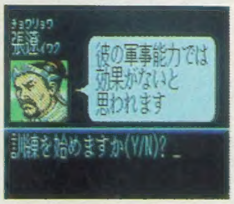


隣接国のどこかにランダムで広がっていくからやっかいだ

193年 12月　ついに待望の軍師獲得!!



張遼を配下にした。すかさず軍師に任命。張遼の知力は80。ぎりぎりで軍師になれる。知力80の助言の正確度はだいたい55%ぐらいなんだ



このように助言をあたえてくれる。たまに嘘をいっていることがあるので注意しよう。嘘か本当かを見分けられたらすごいけど……



荀彧の知力は97。正確度はだいたい9割5分といったところだろうか。まあほとんど信用していいと思う。でもたまには……

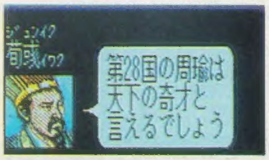
天災のおかげで伸び悩んだ我が軍だが、ついに軍師クラスの武将を手に入れることができたのだ。張遼である。知力は80。軍師としては最低レベルだが、いないよりはましだ。さっそく軍師に任命。その後、荀彧を獲得。知力97の知将だ。ちょっとここで現在(193年12月)の我が軍のラインアップをお見せしよう。太史慈、呂布、李異、黄蓋、呂範、張允、辛評、張遼の8人。ばかにできない戦力にまでなった。



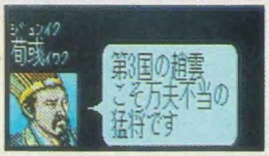
孫策軍の周瑜が金を持ってきた。よきにはからえ

◉コマンドNo.18◉

コマンドNo.18特別の中の「軍師」を選ぶと、いつもの軍師の助言とはちょっと違うことが聞ける。毎回聞けるわけではないが、たまにビッグな情報を教えてくれたりする。また「うわさ」を選ぶと、許子将(きょししょう・人相見)か司馬徽(しばき・学者)が国内にいればうわさ話を聞ける。しかしこの2人、めったにみつからない。



こんなことをいっている。じゃあオマエはどうなんだよ。え、え!



なんとかして趙雲も配下にしようと思ったのだが、引き抜けなかった

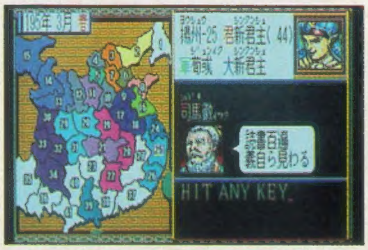
独立! そして新君主に…

192年6月、董卓配下の李粛が董卓に反旗を翻して、独立した。新たな君主の誕生である。忠誠度の低い太守が謀叛を起こし独立するのだが、このときその国にいた武将は、同じく忠誠度の低かった場合、新君主についていき、他の武将は他国に行ったりする。それと同じ効果を、自分の計略で起こすこともできるのである。駆虎呑狼がそれである。独立させたい太守に謀叛を起こさせるようにしむけるのだ。決まったときは何ともいいがたい喜びがある。ぜひやってみよう。



パッと画面が写し出される。いい光景だが、自分の配下の武将がこうなったら、けっこう悲しい

◉学者・司馬徽を発見◉



運よく司馬徽を見つけられた。果たしてこれはどういう意味なのだろう。むずかしい……

198年 3月　初陣を飾れるか新君主軍！

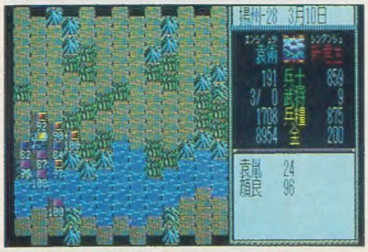
198年3月、ついに攻めるだけの戦力が整った。ここまでじっとガマンして力を蓄えてきた。有能な武将もある程度揃った。太史慈、龐徳、甘寧、顔良、張郃と我が軍の中でも屈指の5人が出陣。相手は袁術軍。孫策軍にも応援を要請して万全の体制で戦いにのぞむ。序盤は有利に進んでいたが突然、張郃が寝返ったのだ。一気に形勢逆転。しかしお返しとばかりに引き抜きかえす。その後は危なげなく勝利をおさめることができた。



太史慈の武力95を筆頭に5人全員が武力90以上のつわものばかり。一騎討ちでもその能力を発揮する



一騎討ちは敵が断ってきたので行われなかった



新君主軍と孫策軍、よってたかっての攻撃だ

◉寝返りに注意せよ◉

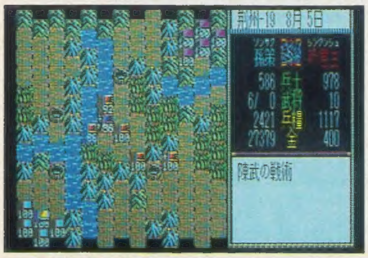
忠誠度の低い武将は敵に引き抜かれやすいが、戦争のときにもそれがいえる。戦争中に裏切られるとこちらの戦力が減り、敵の戦力が増えてしまう。これはたまんない。戦争に連れていくときは忠誠度を上げておくことを忘れないように。敵が寝返り工作をしてくるときは、裏切る可能性のある武将がいる。十分注意しよう。



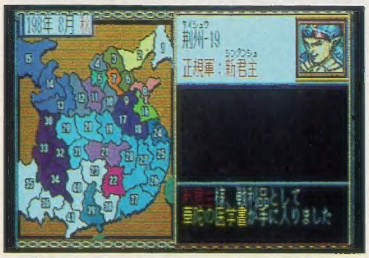
寝返ってしまったら、こっちも寝返らさせよう

198年 8月　イッキカセイに攻め立てる!!

袁術に続き、孫策を攻撃に出た。今度は曹操に共同軍を頼んだ。孫策軍も負けじと劉表軍に援軍を頼む。新君主・曹操連合軍対、孫策・劉表連合軍の四つ巴の戦いが展開する。4者入り乱れての戦いなんて、すごいものがある。まずは顔良が一騎討ちで敵を蹴散らし、孫策軍の兵を減らした。8月4日に曹操軍到着。曹洪、曹仁を始めとする5人が来てくれた。いっぽう劉表軍はまだ到着しない。このままいけば勝利は間違いない。8月5日、曹操軍に1日遅れて劉表が到着。さあこれで2対2、おもしろくなってきた。しかし肝心の孫策軍の武将は呂蒙と陳武の2人。我が軍は太守の呂蒙だけに的を絞り集中攻撃。頼みの劉表軍も活躍するまえに決着か？　と思いきや、なんと曹操軍が裏切ったのである。曹操軍が孫策軍についてしまった。1対3である。まさかの裏切りにその動揺は隠しきれない。甘寧は曹操軍によって捕らえられるし、多勢に無勢という状況になってきた。しかしそれでも我が軍はあきらめずに呂蒙1人に攻撃を集中。結果は新君主軍の勝ちである。しかしその損害はあまりにも大きい。勝つには勝ったがこれでは、他の軍に攻められてしまう。案の上、袁術と董卓が攻めこんできた。どうする新君主軍!?



4者が激突。壮観なシーンだ



「華陀の医学書」があれば病気もけがも怖くない

◉裏切り行為に注意◉

同盟軍の突然の裏切り行為。まさかである。これは同盟を結んでいても、相手のこちらに対する敵対心が高いために起こる。贈り物などをして、あらかじめ敵対心を下げておこう。



同盟軍は時と場合によって裏切ることもある。逆にこちらの軍につくことだってある

血縁武将がいないのが残念

新君主は配下に1人の武将もいない状態でスタートする。序盤戦はこれがけっこうつらいんだ。ある程度武将を増やせればなんとか弱小群雄と同じようなレベルになれるのだが。それともう1つ、新君主には血縁武将がいない。残念である。いなければいけないというわけではないが、やっぱりなんとなく寂しい気がする。ゲーム中盤、これからというときに、ひょこっと何もしないで配下に加わってくれる有り難い存在の血縁武将。新君主では無理だが、その他の武将を引き抜き、そこから血縁武将を期待しよう。

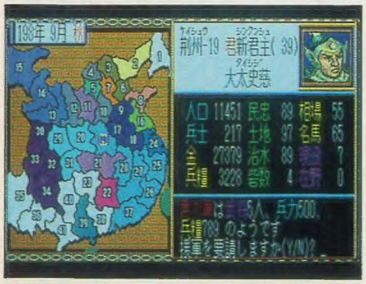
成人して配下に



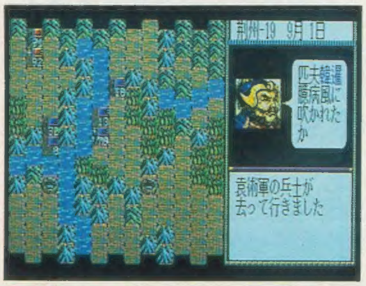
成人すると配下に加わる。労せずして武将が手に入る。なかなかうれしいものがあるよね

202年 4月　ナンバー1群雄になる‼

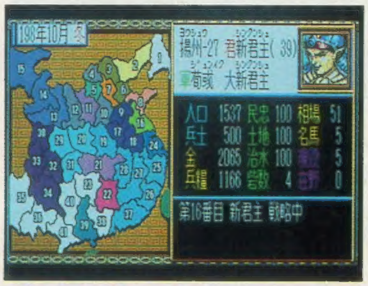
スタートして10余年。我が軍もここまできた。思えば1人でスタートしたあのとき、常に死ととなりあわせだった。毎日がひやひやの連続だった。必死に武将をかき集め、軍備を整え初陣を飾った。1人、2人と武将が増え、いつしか自分の下には30人以上の武将がいる。そういえば、初めは第1番目に順番がまわってきた。しかし今ではあの曹操を抜いて第16番目。1番最後に順番がまわってくるのである。つまり今、我が軍はナンバー1の実力を持ったわけだ。そうはいっても曹操との力関係はきっこうしている。またその他の君主もそれなりの力をもっていて、虎視淡々と天下取りを狙っている。ここまで新君主でプレイしてきたが、とにかく最初はつらい。でも配下に何人かの武将を加えられるようになれば、なんとかなるもんだ。武将確保は魅力が高ければ高いほどいい。また武力を100にして、いきなり弱小群雄に目をつけ、滅ぼしにかかるのも1つの手だ。戦いに勝って武将を捕らえ配下にし、金・兵糧を手に入れる。新君主の能力設定のとき、魅力を高くするなら長期戦型、武力を高くするなら即決戦型といえるのではなかろうか。どちらにしても新君主モードは、三国志の世界をより楽しくしているといえる。



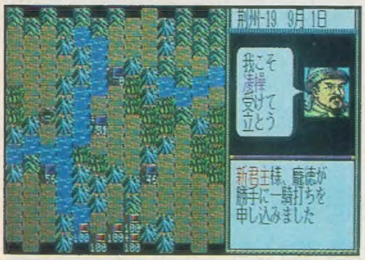
ゲッ！ 攻めてきた！



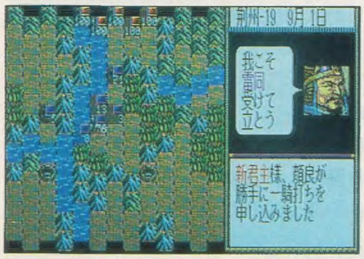
2連ちゃんかよ



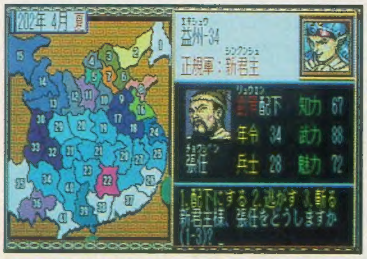
第16番目、新君主戦略中



この陣形で戦う！



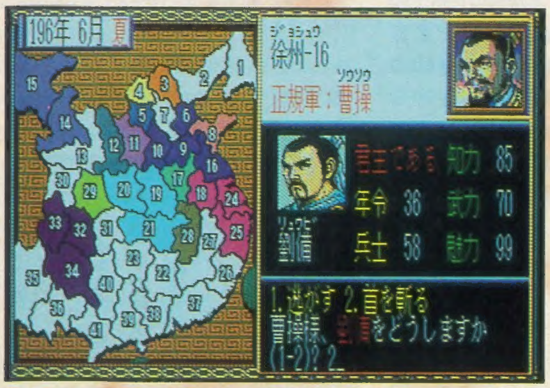
今度は董卓までもが攻めてきた



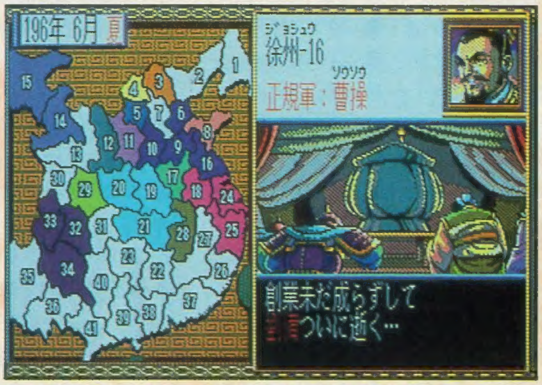
全国統一はまだ長い

うわさ話 亡霊が出るってホント〜!?

編集部に送られてくる『三國志II』のハガキは、たいてい「兵糧無限増殖」「簡単な新君主システム」「謎の美女出現」の3つである。しかしその中でちょっと目をひいたハガキが最近送られてくる。『三國志II』には「亡霊」が出るらしいのだ。これはまだ未確認情報なので、詳しいやり方はまだわかっていないが、君主を殺したとき、君主陣没の画面で君主の亡霊が出現し、いろいろなセリフをはくのだぞうだ。送られてくるハガキを総合すると、2国以上領地をもっている君主を殺す。このときその君主の後継者になりうる武将(予想するのだ)も、君主と同じ国にいなければならない(後継者は殺さないように)。興味のある人は1度ためしてみてほしい。もし詳しいことが分かれば、十字軍で掲載するからね。



2国以上ある君主を殺す。たいていは逃げられてしまう



この画面でいろいろなメッセージが出るということなんだが……

保存版 全シナリオ配下武将一覧

各シナリオはどれもやりごたえ十分で、かなり遊べる。シナリオ3から6は登場するすべての君主を選べるが、シナリオ1と2では選べない君主もいる。ここでは選べる君主はもちろん、選べないその他の君主も、シナリオ開始時の配下武将をバッチリ完全収録。他誌では見たことのない特別企画だ。

シナリオ	開始	サブタイトル
シナリオ1	●189年開始	董卓洛陽を騒がし群星起つ
シナリオ2	●194年開始	群雄割拠し盛んに覇を競う
シナリオ3	●201年開始	劉備荊州に潜み髀肉を嘆ず
シナリオ4	●208年開始	曹操華北を制し天下を望む
シナリオ5	●215年開始	天下三分し関羽荊州を守る
シナリオ6	●220年開始	魏・呉・蜀鼎立し三国成る

シナリオ 1

選べる君主11人 その他の君主4人

登場する君主は全シナリオ中最高。それだけ幅広い戦いが見られる。袁紹、董卓が群を抜いて強い。

●曹操(そうそう)
知95武91魅95 35才
配下武将8人 統治国9国

●陳宮(ちんきゅう) ●曹昂(そうこう)
●夏侯淵(かこうえん) ●曹仁(そうじん)
●夏侯惇(かこうとん) ●楽進(がくしん)
●曹洪(そうこう) ●曹純(そうじゅん)

●劉備(りゅうび)
知85武70魅99 29才
配下武将2人 統治国4国

●関羽(かんう) ●張飛(ちょうひ)

●孫堅(そんけん)
知87武90魅89 34才
配下武将6人 統治国21国

●程普(ていふ) ●韓当(かんとう)
●孫策(そんさく) ●闞沢(かんたく)
●黄蓋(こうがい) ●朱治(しゅち)

●袁紹(えんしょう)
知70武81魅70 45才
配下武将16人 統治国6国

●田豊(でんほう) ●焦触(しょうしょく)
●袁熙(えんき) ●審配(しんぱい)
●袁譚(えんたん) ●張顗(ちょうぎ)
●袁尚(えんしょう) ●沮授(そじゅ)
●郭図(かくと) ●陳震(ちんしん)
●顔良(がんりょう) ●馬延(ばえん)
●高幹(こうかん) ●文醜(ぶんしゅう)
●高覧(こうらん) ●逢紀(ほうき)

●袁術(えんじゅつ)
知69武80魅50 36才
配下武将7人 統治国19国

●袁胤(えんいん) ●陳蘭(ちんらん)
●紀霊(きれい) ●李豊(りほう)
●楽就(がくしゅう) ●雷薄(らいはく)
●張勲(ちょうくん)

●馬騰(ばとう)
知54武95魅87 34才
配下武将2人 統治国14国

●侯選(こうせん)
●程銀(ていぎん)

●劉焉(りゅうえん)
知85武45魅90 53才
配下武将11人 統治国30、32、33国

●厳顔(げんがん) ●雷同(らいどう)
●呉蘭(ごらん) ●劉璋(りゅうしょう)
●呉懿(ごい) ●冷苞(れいほう)
●張任(ちょうじん) ●高沛(こうはい)
●董和(とうか) ●楊懐(ようかい)
●劉璝(りゅうかい)

●劉表(りゅうひょう)
知74武73魅68 48才
配下武将10人 統治国20国

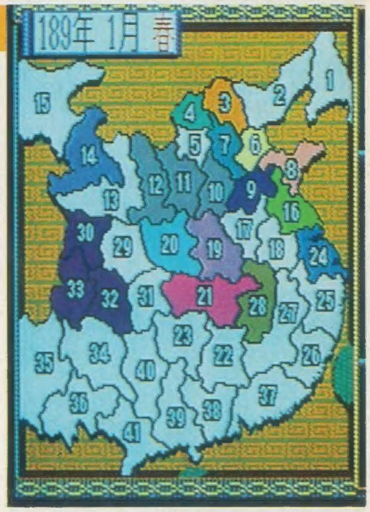
●蒯良(かいりょう) ●宋忠(そうちゅう)
●蒯越(かいえつ) ●鄧義(とうぎ)
●韓嵩(かんすう) ●文聘(ぶんぺい)
●黄祖(こうそ) ●劉磐(りゅうはん)
●蔡瑁(さいぼう) ●呂公(りょこう)

●董卓(とうたく)
知55武90魅44 51才
配下武将15人 統治国10〜12国

●賈詡(かく) ●趙岑(ちょうしん)
●呂布(りょふ) ●徐栄(じょえい)
●華雄(かゆう) ●郭汜(かくし)
●李儒(りじゅ) ●董旻(とうびん)
●李粛(りしゅく) ●張済(ちょうさい)
●樊稠(はんちゅう) ●張繡(ちょうしゅう)
●胡軫(こしん)
●李傕(りかく)
●張資(ちょうし)

●公孫瓚(こうそんさん)
知70武75魅72 37才
配下武将1人 統治国3国

●公孫越(こうそんえつ)



●陶謙(とうけん)
知62武51魅78 58才
配下武将5人 統治国16国

●曹豹(そうひょう) ●糜竺(びじく)
●孫乾(そんかん) ●糜芳(びほう)
●陳登(ちんとう)

●王朗(おうろう)
知60武48魅48 38才
配下武将1人 統治国24国

●虞翻(ぐほん)

●孔融(こうゆう)
知82武35魅87 37才
配下武将2人 統治国8国

●梁剛(りょうごう) ●武安国(ぶあんこく)

●韓馥(かんぷく)
知53武51魅50 41才
配下武将3人 統治国7国

●潘鳳(はんほう) ●張郃(ちょうこう)
●辛評(しんぴょう)

●劉繇(りゅうよう)
知56武18魅23 39才
配下武将3人 統治国28国

●太史慈(たいしじ) ●陳武(ちんぶ)
●張英(ちょうえい)

注) ■の君主は選べる君主、■はその他の君主を表し、■は軍師を表す。また知は知力、武は武力、魅は魅力を表す。

シナリオ2

選べる君主11人 その他の君主4人

シナリオ1で強大な力を誇っていた董卓はいない。代わりといっては何だが、呂布と李傕が新たに君主になっている。配下武将数では圧倒的に曹操が有利だが、周りを敵に囲まれているので、集中攻撃を受けるかも。早めに同盟を結んでおくことも考えよう。袁紹の戦力も曹操に匹敵するものがある。孫堅の後を継いだ孫策も、父孫堅にもまさる能力をもっている。ばかにはできない戦力だ。ただシナリオ1の孫堅も2の孫策も寿命が短い。その点だけ注意しておこう。

●曹操(そうそう)

知95武91魅95　40才
配下武将20人　統治国10、11国

●荀彧(じゅんいく)　●于禁(うきん)
●荀攸(じゅんゆう)　●夏侯楙(かこうも)
●郭嘉(かくか)　●陳矯(ちんきょう)
●夏侯恩(かこうおん)　●曹純(そうじゅん)
●夏侯淵(かこうえん)　●陳嬉(ちんき)
●曹洪(そうこう)　●楽進(がくしん)
●曹昂(そうこう)　●朱霊(しゅれい)
●程昱(ていいく)　●鍾繇(しょうよう)
●典韋(てんい)　●董衡(とうこう)
●夏侯惇(かこうとん)
●曹仁(そうじん)

●劉備(りゅうび)

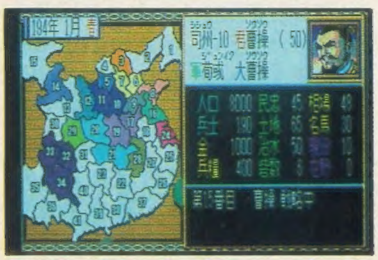
知85武70魅99　34才
配下武将7人　統治国16国

●陳登(ちんとう)　●糜竺(びじく)
●糜芳(びほう)　●関羽(かんう)
●孫乾(そんかん)　●張飛(ちょうひ)
●曹豹(そうひょう)

●孫策(そんさく)

知88武94魅93　20才
配下武将9人　統治国24国

●周瑜(しゅうゆ)　●周泰(しゅうたい)
●呂蒙(りょもう)　●朱治(しゅち)
●闞沢(かんたく)　●程普(ていふ)
●韓当(かんとう)　●丁奉(ていほう)
●黄蓋(こうがい)



この頃から曹操がじわじわと力をつけてきている

●袁紹(えんしょう)

知70武81魅70　50才
配下武将20人　統治国6、7国

●田豊(でんほう)　●高幹(こうかん)
●沮授(そじゅ)　●高覧(こうらん)
●袁尚(えんしょう)　●焦触(しょうしょく)
●郭図(かくと)　●審栄(しんえい)
●顔良(がんりょう)　●張顗(ちょうぎ)
●辛評(しんぴょう)　●審配(しんぱい)
●張郃(ちょうこう)　●梁剛(りょうごう)
●袁熙(えんき)　●陳震(ちんしん)
●文醜(ぶんしゅう)　●馬延(ばえん)
●逢紀(ほうき)
●袁譚(えんたん)

●袁術(えんじゅつ)

知69武80魅50　41才
配下武将7人　統治国17、19国

●袁胤(えんいん)　●楽就(がくしゅう)
●紀霊(きれい)　●陳蘭(ちんらん)
●張勲(ちょうくん)　●雷薄(らいはく)
●李豊(りほう)

●馬騰(ばとう)

知54武95魅87　39才
配下武将12人　統治国14国

●馬超(ばちょう)　●龐徳(ほうとく)
●馬鉄(ばてつ)　●梁興(りょうこう)
●侯選(こうせん)　●馬玩(ばがん)
●成宜(せいぎ)　●楊秋(ようしゅう)
●張横(ちょうおう)　●李湛(りたん)
●程銀(ていぎん)
●馬岱(ばたい)

●劉璋(りゅうしょう)

知70武50魅90　37才
配下武将12人　統治国32〜34国

●張松(ちょうしょう)　●費詩(ひし)
●呉懿(ごい)　●楊懐(ようかい)
●張任(ちょうじん)　●黄権(こうけん)
●呉蘭(ごらん)　●劉璝(りゅうかい)
●董和(とうか)　●冷苞(れいほう)
●雷同(らいどう)
●厳顔(げんがん)

●劉表(りゅうひょう)

知74武73魅68　53才
配下武将11人　統治国20、21国

●蒯良(かいりょう)　●張允(ちょういん)
●韓嵩(かんすう)　●文聘(ぶんぺい)
●黄祖(こうそ)　●劉磐(りゅうはん)
●蔡瑁(さいぼう)　●呂公(りょこう)
●鄧義(とうぎ)
●蒯越(かいえつ)
●宋忠(そうちゅう)



●呂布(りょふ)

知25武100魅15　40才
配下武将10人　統治国9国

●陳宮(ちんきゅう)　●魏続(ぎぞく)
●張遼(ちょうりょう)　●侯成(こうせい)
●王楷(おうかい)　●宋憲(そうけん)
●郝萌(かくほう)　●張邈(ちょうばう)
●許汜(きょし)　●高順(こうじゅん)

●公孫瓚(こうそんさん)

知70武75魅72　42才
配下武将1人　統治国3国

●趙雲(ちょううん)

●李傕(りかく)

知41武50魅40　47才
配下武将3人　統治国12国

●賈詡(かく)　●張済(ちょうさい)
●郭汜(かくし)

●孔融(こうゆう)

知82武35魅87　42才
配下武将1人　統治国8国

●武安国(ぶあんこく)

●劉繇(りゅうよう)

知56武18魅23　44才
配下武将3人　統治国28国

●太史慈(たいしじ)　●陳武(ちんぶ)
●張英(ちょうえい)

●楊奉(ようほう)

知50武62魅71　37才
配下武将1人　統治国5国

●徐晃(じょこう)

●張魯(ちょうろ)

知80武70魅88　34才
配下武将7人　統治国29国

●閻圃(えんほ)　●楊松(ようしょう)
●張衛(ちょうえい)　●楊任(ようじん)
●楊昂(ようこう)　●楊柏(ようはく)
●楊平(ようへい)

シナリオ 3

選べる君主８人

袁紹と曹操が二大勢力を伸ばし始めている。シナリオ3の開始は201年。史実ではすでに「官渡の戦い」は過ぎている。「官渡の戦い」で袁紹を倒した曹操。そういう背景でシナリオはスタートしている。「官渡の戦い」で敗れている袁紹軍だが、まだまだ力は残っている。ただシナリオ3の袁紹はかなり寿命が短い。シナリオ3をスタートしていきなり「死の予感」が出るときもある。劉備軍は関羽、張飛、趙雲とすご腕の武将はいるのだが、まだまだ曹操や孫権に対抗する力は持っていない。在野に優れた武将が多いので、捜し出し確実に配下にしていこう。

●曹操（そうそう）

知95武91魅95　47才
配下武将43人　統治国9～11、16、17国

●司馬懿（しばい）　●夏侯楙（かこうも）
●郭嘉（かくか）　●夏侯覇（かこうは）
●荀彧（じゅんいく）　●陳登（ちんとう）
●許褚（きょちょ）　●曹仁（そうじん）
●郝昭（かくしょう）　●曹純（そうじゅん）
●夏侯恩（かこうおん）　●牛金（ぎゅうきん）
●典満（てんまん）　●楊修（ようしゅう）
●郭奕（かくえき）　●徐商（じょしょう）
●張遼（ちょうりょう）　●宋憲（そうけん）
●程昱（ていいく）　●鍾繇（しょうよう）
●魏続（ぎぞく）　●曹洪（そうこう）
●朱霊（しゅれい）　●荀攸（じゅんゆう）
●曹真（そうしん）　●呂虔（りょけん）
●李通（りつう）　●于禁（うきん）
●夏侯惇（かこうとん）　●徐晃（じょこう）
●陳矯（ちんきょう）　●楽進（がくしん）
●桓楷（かんかい）　●孔融（こうゆう）
●陳嬉（ちんき）　●傅幹（ふかん）
●侯成（こうせい）　●呂建（りょけん）
●董衡（とうこう）
●杜襲（としゅう）
●李典（りてん）
●呂常（りょじょう）
●夏侯淵（かこうえん）



⇧劉備、関羽、張飛。桃園の誓いで義兄弟の契りを結んだ。漢王朝の復興を目指し乱世にその身を投じる

●劉備（りゅうび）

知85武70魅99　41才
配下武将10人　統治国19国

●関羽（かんう）　●糜竺（びじく）
●張飛（ちょうひ）　●関平（かんぺい）
●趙雲（ちょううん）　●簡雍（かんよう）
●孫乾（そうかん）　●周倉（しゅうそう）
●糜芳（びほう）　●趙統（ちょうとう）

●孫権（そんけん）

知89武87魅98　20才
配下武将33人　統治国18、24、25、27国

●周瑜（しゅうゆ）　●朱治（しゅち）
●呂蒙（りょもう）　●全琮（ぜんそう）
●太史慈（たいしじ）　●黄蓋（こうがい）
●董襲（とうしゅう）　●闞沢（かんたく）
●孫瑜（そんゆ）　●凌操（りょうそう）
●張昭（ちょうしょう）　●凌統（りょうとう）
●孫桓（そんかん）　●周泰（しゅうたい）
●韓当（かんとう）　●宋謙（そうけん）
●虞翻（ぐほん）　●譚雄（たんゆう）
●張紘（ちょうこう）　●潘璋（はんしょう）
●孫翊（そんよく）　●馬忠（ばちゅう）
●程普（ていふ）　●丁奉（ていほう）
●魯粛（ろしゅく）　●陸遜（りくそん）
●陸績（りくせき）　●朱桓（しゅかん）
●顧雍（こよう）　●歩騭（ほしつ）
●呂範（りょはん）　●李異（りい）
●朱然（しゅぜん）

●袁紹（えんしょう）

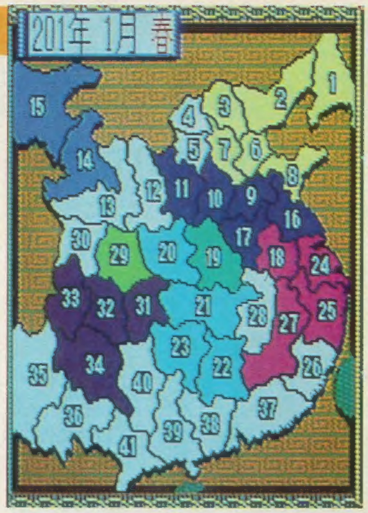
知70武81魅70　57才
配下武将20人　統治国1～3、6～8国

●田豊（でんほう）　●高幹（こうかん）
●沮授（そじゅ）　●蔣義渠（しょうぎきょ）
●袁尚（えんしょう）　●袁譚（えんたん）
●張郃（ちょうこう）　●郭図（かくと）
●高覧（こうらん）　●張南（ちょうなん）
●審栄（しんえい）　●呂曠（りょこう）
●辛評（しんひょう）　●呂翔（りょしょう）
●張顗（ちょうぎ）　●陳震（ちんしん）
●審配（しんぱい）　●焦触（しょうしょく）
●袁熙（えんき）　●馬延（ばえん）

●劉璋（りゅうしょう）

知70武50魅90　44才
配下武将13人　統治国31～34国

●張松（ちょうしょう）　●費詩（ひし）
●王累（おうるい）　●冷苞（れいほう）
●呉懿（ごい）　●雷同（らいどう）
●呉蘭（ごらん）　●黄権（こうけん）
●劉璝（りゅうかい）　●董和（とうか）
●張任（ちょうじん）　●楊懐（ようかい）
●厳顔（げんがん）





⇧いきなりこんなのが出てしまうこともしばしば

●馬騰（ばとう）

知54武95魅87　46才
配下武将13人　統治国14、15国

●馬超（ばちょう）　●馬岱（ばたい）
●馬鉄（ばてつ）　●李湛（りたん）
●龐徳（ほうとく）　●馬休（ばきゅう）
●侯選（こうせん）　●馬玩（ばがん）
●成宜（せいぎ）　●楊秋（ようしゅう）
●張横（ちょうおう）　●梁興（りょうこう）
●程銀（ていぎん）

●張魯（ちょうろ）

知80武70魅88　41才
配下武将7人　統治国29国

●閻圃（えんほ）　●楊松（ようしょう）
●張衛（ちょうえい）　●楊任（ようじん）
●楊昂（ようこう）　●楊柏（ようはく）
●楊平（ようへい）

●劉表（りゅうひょう）

知74武73魅68　60才
配下武将16人　統治国20～23国

●蒯良（かいりょう）　●劉琮（りゅうそう）
●蒯越（かいえつ）　●張允（ちょういん）
●劉琦（りゅうき）　●劉磐（りゅうはん）
●韓嵩（かんすう）　●劉度（りゅうど）
●黄祖（こうそ）　●宋忠（そうちゅう）
●蔡瑁（さいぼう）　●李珪（りけい）
●文聘（ぶんぺい）　●趙範（ちょうはん）
●鄧義（とうぎ）　●呂公（りょこう）

シナリオ 4

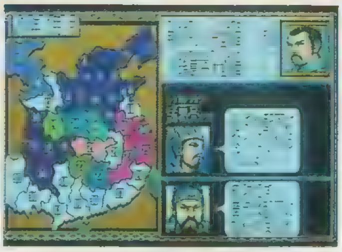
名門、袁家は滅んだ。華北いったいは曹操のものになっている。司馬懿、荀彧、徐庶、賈詡、程昱の知将を始め、許褚、夏侯惇、夏侯淵、張郃、徐晃、張遼と猛将も数多い。配下武将の数もダントツ。質、量ともにナンバー1だ。この曹操に唯一対抗できるのは、孫権だろう。しかしそれでもすぐに戦って勝てる可能性は低い。じっくり時間をかけて戦力を蓄えておこう。いっぽう劉備だが、配下についに諸葛亮をむかえた。このシナリオでも劉備は在野武将の確保から始めるのがいい。

曹操（そうそう）

知95武91魅95　54才
配下武将64人　統治国1〜12、17国

- 司馬懿（しばい）
- 荀彧（じゅんいく）
- 許褚（きょちょ）
- 曹彰（そうしょう）
- 夏侯徳（かこうとく）
- 牛金（ぎゅうきん）
- 曹丕（そうひ）
- 曹植（そうしょく）
- 張允（ちょういん）
- 楊修（ようしゅう）
- 郝昭（かくしょう）
- 陳群（ちんぐん）
- 徐商（じょしょう）
- 楽進（がくしん）
- 陳嬉（ちんき）
- 典満（てんまん）
- 夏侯惇（かこうとん）
- 董衡（とうこう）
- 于禁（うきん）
- 孔融（こうゆう）
- 焦触（しょうしょく）
- 毛玠（もうかい）
- 呂翔（りょしょう）
- 夏侯淵（かこうえん）
- 張郃（ちょうこう）
- 曹洪（そうこう）
- 夏侯威（かこうい）
- 夏侯尚（かこうしょう）
- 鍾繇（しょうよう）
- 夏侯楙（かこうも）
- 劉曄（りゅうよう）
- 夏侯覇（かこうは）
- 徐晃（じょこう）
- 曹真（そうしん）
- 荀攸（じゅんゆう）
- 侯成（こうせい）
- 郭奕（かくえき）
- 桓楷（かんかい）
- 曹休（そうきゅう）
- 呂常（りょじょう）
- 曹仁（そうじん）
- 張遼（ちょうりょう）
- 文聘（ぶんぺい）
- 韓浩（かんこう）
- 徐庶（じょしょ）
- 王匡（おうきょう）
- 朱霊（しゅれい）
- 曹純（そうじゅん）
- 辛毘（しんぴ）
- 賈詡（かく）
- 張顗（ちょうぎ）
- 張南（ちょうなん）
- 呂曠（りょこう）
- 華歆（かきん）
- 程昱（ていいく）
- 李典（りてん）
- 呂建（りょけん）
- 傅幹（ふかん）
- 馬延（ばえん）
- 陳矯（ちんきょう）
- 杜襲（としゅう）
- 李通（りつう）
- 呂虔（りょけん）
- 蔣義渠（しょうぎきょ）

選べる君主10人



劉備（りゅうび）

知85武70魅99　48才
配下武将16人　統治国19国

- 諸葛亮（しょかつりょう）
- 関羽（かんう）
- 趙雲（ちょううん）
- 張飛（ちょうひ）
- 孫乾（そんかん）
- 簡雍（かんよう）
- 趙統（ちょうとう）
- 関興（かんこう）
- 糜芳（びほう）
- 糜竺（びじく）
- 張苞（ちょうほう）
- 関平（かんぺい）
- 周倉（しゅうそう）
- 劉封（りゅうほう）
- 趙広（ちょうこう）
- 関索（かんさく）

孫権（そんけん）

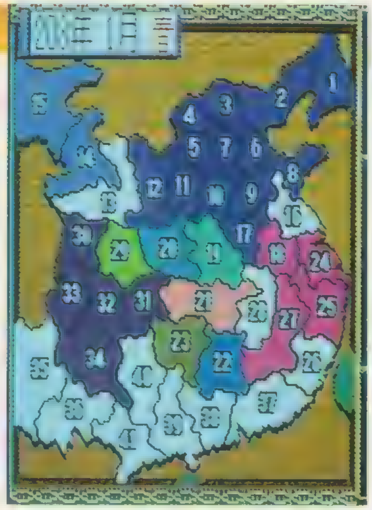
知89武87魅98　27才
配下武将38人　統治国18、24、25、27国

- 周瑜（しゅうゆ）
- 魯粛（ろしゅく）
- 張紘（ちょうこう）
- 諸葛謹（しょかつきん）
- 甘寧（かんねい）
- 韓当（かんとう）
- 虞翻（ぐほん）
- 孫桓（そんかん）
- 孫瑜（そんゆ）
- 程普（ていふ）
- 程秉（ていへい）
- 呂蒙（りょもう）
- 太史慈（たいしじ）
- 張休（ちょうきゅう）
- 朱然（しゅぜん）
- 朱治（しゅち）
- 董襲（とうしゅう）
- 馬忠（ばちゅう）
- 呂範（りょはん）
- 全琮（ぜんそう）
- 顧雍（こよう）
- 朱桓（しゅかん）
- 張昭（ちょうしょう）
- 陸遜（りくそん）
- 丁奉（ていほう）
- 潘璋（はんしょう）
- 李異（りい）
- 張承（ちょうしょう）
- 張温（ちょうおん）
- 黄蓋（こうがい）
- 闞沢（かんたく）
- 譚雄（たんゆう）
- 薛綜（せっそう）
- 周泰（しゅうたい）
- 宋謙（そうけん）
- 歩騭（ほしつ）
- 陸績（りくせき）
- 凌統（りょうとう）

馬騰（ばとう）

知54武95魅87　53才
配下武将14人　統治国14、15国

- 馬玩（ばがん）
- 馬休（ばきゅう）
- 程銀（ていぎん）
- 楊秋（ようしゅう）
- 馬超（ばちょう）
- 馬鉄（ばてつ）
- 馬岱（ばたい）
- 龐徳（ほうとく）
- 侯選（こうせん）
- 成宜（せいぎ）
- 張横（ちょうおう）
- 龐柔（ほうじゅう）
- 李湛（りたん）
- 梁興（りょうこう）



劉璋（りゅうしょう）

知70武50魅90　51才
配下武将16人　統治国30〜34国

- 張松（ちょうしょう）
- 王累（おうるい）
- 呉懿（ごい）
- 張任（ちょうじん）
- 蔣琬（しょうえん）
- 厳顔（げんがん）
- 呉蘭（ごらん）
- 費詩（ひし）
- 李厳（りげん）
- 董和（とうか）
- 劉循（りゅうじゅん）
- 楊懐（ようかい）
- 劉璝（りゅうかい）
- 黄権（こうけん）
- 尚挙（しょうきょ）
- 雷同（らいどう）

金旋（きんせん）

知29武43魅37　59才
配下武将1人　統治国20国

- 鞏志（きょうし）

韓玄（かんげん）

知21武34魅12　58才
配下武将3人　統治国21国

- 黄忠（こうちゅう）
- 楊齢（ようれい）
- 魏延（ぎえん）

趙範（ちょうはん）

知45武50魅43　53才
配下武将2人　統治国22国

- 陳応（ちんおう）
- 鮑龍（ほうりゅう）

劉度（りゅうど）

知55武54魅66　64才
配下武将2人　統治国23国

- 邢道栄（けいどうえい）
- 劉延（りゅうえん）

張魯（ちょうろ）

知80武70魅88　48才
配下武将7人　統治国29国

- 閻圃（えんほ）
- 張衛（ちょうえい）
- 楊昂（ようこう）
- 楊松（ようしょう）
- 楊任（ようじん）
- 楊柏（ようはく）
- 楊平（ようへい）

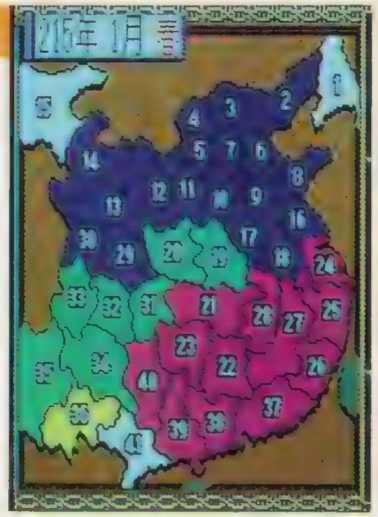
シナリオ5

選べる君主4人

シナリオ4とはうって変わって君主の数が減っている。劉備、曹操、孫権の三つ巴の戦いの様相に。19国、20国は関羽の守る荊州。史実では曹操と組んだ孫権軍の呂蒙、陸遜にやられている。劉備で始める場合、史実通りにならないように、十分注意をはらっておこう。また南のほうにある弱小群雄の孟獲にも気をつけよう。油断していると攻めこまれ、前門の虎(曹操、孫権)後門の狼(孟獲)という状況になりかねないぞ。曹操は相変わらず強い。孫権軍はイマイチといったところ。



ついに4人になってしまった。[illegible]外の3人の実力はきっこうしている。じ[illegible]



曹操(そうそう)

知95武91魅95　61才

配下武将65人　統治国2〜14、16〜18、29、30国

- 司馬懿(しばい)
- 曹丕(そうひ)
- 曹彰(そうしょう)
- 曹植(そうしょく)
- 徐晃(じょこう)
- 劉曄(りゅうよう)
- 郭奕(かくえき)
- 牛金(ぎゅうきん)
- 王粲(おうさん)
- 曹休(そうきゅう)
- 張遼(ちょうりょう)
- 夏侯覇(かこうは)
- 楽進(がくしん)
- 李典(りてん)
- 呂虔(りょけん)
- 呂常(りょじょう)
- 張虎(ちょうこ)
- 文欽(ぶんきん)
- 張魯(ちょうろ)
- 夏侯惇(かこうとん)
- 于禁(うきん)
- 夏侯淵(かこうえん)
- 閻圃(えんほ)
- 郭淮(かくわい)
- 夏侯恵(かこうけい)
- 杜襲(としゅう)
- 夏侯恵(かこうけい)
- 曹仁(そうじん)
- 文聘(ぶんぺい)
- 陳群(ちんぐん)
- 陳嬉(ちんき)
- 毛玠(もうかい)
- 侯成(こうせい)
- 陳泰(ちんたい)
- 辛毘(しんぴ)
- 賈詡(かく)
- 程昱(ていいく)
- 華歆(かきん)
- 呂建(りょけん)
- 桓階(かんかい)
- 典満(てんまん)
- 董衡(とうこう)
- 曹洪(そうこう)
- 張郃(ちょうこう)
- 楊秋(ようしゅう)
- 夏侯楙(かこうも)
- 韓浩(かんこう)
- 曹真(そうしん)
- 郝昭(かくしょう)
- 賈逵(かき)
- 夏侯尚(かこうしょう)
- 夏侯徳(かこうとく)
- 許褚(きょちょ)
- 徐庶(じょしょ)
- 龐徳(ほうとく)
- 陳矯(ちんきょう)
- 王匡(おうきょう)
- 朱霊(しゅれい)
- 孫礼(そんれい)
- 李通(りつう)
- 傅幹(ふかん)
- 徐商(じょしょう)
- 侯選(こうせん)
- 曹純(そうじゅん)
- 鍾繇(しょうよう)

劉備(りゅうび)

知85武70魅99　55才

配下武将53人　統治国19、20、31〜35国

- 諸葛亮(しょかつりょう)
- 黄忠(こうちゅう)
- 鄧芝(とうし)
- 法正(ほうせい)
- 厳顔(げんがん)
- 費褘(ひい)
- 馬良(ばりょう)
- 王平(おうへい)
- 簡雍(かんよう)
- 呉懿(ごい)
- 蔣琬(しょうえん)
- 楊洪(ようこう)
- 趙雲(ちょううん)
- 孫乾(そんかん)
- 趙広(ちょうこう)
- 鞏志(きょうし)
- 趙統(ちょうとう)
- 費詩(ひし)
- 関羽(かんう)
- 関平(かんぺい)
- 伊籍(いせき)
- 周倉(しゅうそう)
- 関索(かんさく)
- 趙累(ちょうるい)
- 傅士仁(ふしじん)
- 潘濬(はんしゅん)
- 馬超(ばちょう)
- 呉蘭(ごらん)
- 呉班(ごはん)
- 尚挙(しょうきょ)
- 張嶷(ちょうぎ)
- 龐義(ほうぎ)
- 龐柔(ほうじゅう)
- 糜竺(びじく)
- 馬岱(ばたい)
- 馬謖(ばしょく)
- 尚寵(しょうちょう)
- 関興(かんこう)
- 陳式(ちんしき)
- 費観(ひかん)
- 糜芳(びほう)
- 孟達(もうたつ)
- 王伉(こうこう)
- 呂凱(りょがい)
- 張飛(ちょうひ)
- 董允(とういん)
- 張苞(ちょうほう)
- 霍峻(かくしゅん)
- 魏延(ぎえん)
- 張達(ちょうたつ)
- 范彊(はんきょう)
- 劉封(りゅうほう)
- 廖化(りょうか)



孫権(そんけん)

知89武87魅98　34才

配下武将38人　統治国21〜28、37〜40国

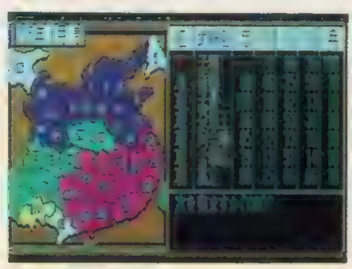
- 魯粛(ろしゅく)
- 程普(ていふ)
- 孫瑜(そんゆ)
- 厳畯(げんしゅん)
- 諸葛瑾(しょかつきん)
- 謝旌(しゃせい)
- 呂蒙(りょもう)
- 譚雄(たんゆう)
- 馬忠(ばちゅう)
- 呂覇(りょは)
- 薛綜(せっそう)
- 張承(ちょうしょう)
- 朱桓(しゅかん)
- 董襲(とうしゅう)
- 歩騭(ほしつ)
- 賈華(かか)
- 凌統(りょうとう)
- 呂範(りょはん)
- 張温(ちょうおん)
- 陸績(りくせき)
- 周泰(しゅうたい)
- 全琮(ぜんそう)
- 陸遜(りくそん)
- 潘璋(はんしょう)
- 徐盛(じょせい)
- 周魴(しゅうほう)
- 甘寧(かんねい)
- 孫桓(そんかん)
- 顧雍(こよう)
- 張昭(ちょうしょう)
- 丁奉(ていほう)
- 張休(ちょうきゅう)
- 虞翻(ぐほん)
- 朱然(しゅぜん)
- 李異(りい)
- 朱治(しゅち)
- 闞沢(かんたく)
- 程秉(ていへい)

孟獲(もうかく)

知20武89魅39　29才

配下武将7人　統治国36国

- 雍闓(ようがい)
- 孟優(もうゆう)
- 朶思王(だしおう)
- 阿会喃(あかいなん)
- 金環結(きんかんけつ)
- 高定(こうてい)
- 董荼奴(とうとぬ)



知力なしの猛者ばかりだ

シナリオ 6

選べる君主４人

関羽の守っていた荊州は曹操に奪われている。関羽自身もすでにこの世の人ではない。そのかわり29国、30国の漢中を手に入れている劉備軍。劉備ももう年老いてきて寿命も、もうすぐつきる。劉備と長年戦ってきた曹操はもういない。世代交代を感じる。劉備軍の有能な武将の寿命はもうそこまで迫ってきている。早めに曹丕の魏、孫権の呉と決着をつけなければならない。

●曹丕（そうひ）

知76武70魅80　34才
配下武将62人　統治国2～14、16～20国

●司馬懿（しばい）
●曹叡（そうえい）
●賈詡（かく）
●鄧艾（とうがい）
●毋丘倹（かんきゅうけん）
●夏侯覇（かこうは）
●牛金（ぎゅうきん）
●鐘繇（しょうよう）
●文欽（ぶんきん）
●王匡（おうきょう）
●張遼（ちょうりょう）
●夏侯恵（かこうけい）
●李典（りてん）
●呂虔（りょけん）
●孫礼（そんれい）
●張虎（ちょうこ）
●徐庶（じょしょ）
●張魯（ちょうろ）
●夏侯威（かこうい）
●郭淮（かくわい）
●陳群（ちんぐん）
●文聘（ぶんぺい）
●孟達（もうたつ）
●陳泰（ちんたい）
●公孫淵（こうそんえん）
●曹休（そうきゅう）
●典満（てんまん）
●董衡（とうこう）
●呂建（りょけん）
●桓楷（かんかい）
●曹仁（そうじん）
●賈逵（かき）
●毛玠（もうかい）
●劉曄（りゅうよう）
●呂常（りょじょう）
●辛毘（しんぴ）
●夏侯尚（かこうしょう）
●徐晃（じょこう）
●楊秋（ようしゅう）
●杜襲（としゅう）
●程昱（ていいく）
●程武（ていぶ）
●華歆（かきん）
●曹洪（そうこう）
●張郃（ちょうこう）
●夏侯和（かこうわ）
●朱霊（しゅれい）
●閻圃（えんほ）
●侯選（こうせん）
●曹真（そうしん）
●郭奕（かくえき）
●夏侯楙（かこうも）
●曹彰（そうしょう）
●郝昭（かくしょう）
●侯成（こうせい）
●傅幹（ふかん）
●徐商（じょしょう）
●曹植（そうしょく）
●陳嬉（ちんき）
●陳矯（ちんきょう）
●于禁（うきん）
●曹純（そうじゅん）



⇐曹操軍の実力は常に安定している。あっ今は曹不軍か

●劉備（りゅうび）

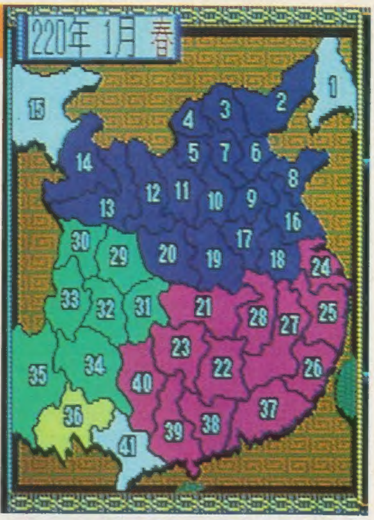
知85武70魅99　60才
配下武将46人　統治国29～35国

●諸葛亮（しょかつりょう）
●黄忠（こうちゅう）
●孫乾（そんかん）
●呉懿（ごい）
●蔣琬（しょうえん）
●費禕（ひい）
●厳顔（げんがん）
●楊洪（ようこう）
●郭攸之（かくゆうし）
●簡雍（かんよう）
●法正（ほうせい）
●趙雲（ちょううん）
●関興（かんこう）
●関索（かんさく）
●鞏志（きょうし）
●王平（おうへい）
●趙統（ちょうとう）
●趙広（ちょうこう）
●鄧芝（とうし）
●馬良（ばりょう）
●許靖（きょせい）
●張翼（ちょうよく）
●馬岱（ばたい）
●魏延（ぎえん）
●糜竺（びじく）
●馬謖（ばしょく）
●張苞（ちょうほう）
●陳式（ちんしき）
●馬超（ばちょう）
●伊籍（いせき）
●張嶷（ちょうぎ）
●呉班（ごはん）
●尚挙（しょうきょ）
●費詩（ひし）
●傅彤（ふとう）
●龐義（ほうぎ）
●龐柔（ほうじゅう）
●王伉（おうこう）
●呂凱（りょがい）
●張飛（ちょうひ）
●董允（とういん）
●尚寵（しょうちょう）
●霍峻（かくしゅん）
●張達（ちょうたつ）
●范彊（はんきょう）
●廖化（りょうか）

●孫権（そんけん）

知89武87魅98　39才
配下武将37人　統治国21～28、37～40国

●陸遜（りくそん）
●程普（ていふ）
●諸葛恪（しょかつかく）
●張承（ちょうしょう）
●謝雄（しゃゆう）
●諸葛瑾（しょかつきん）
●厳畯（げんしゅん）
●朱桓（しゅんかん）
●董襲（とうしゅう）
●呂覇（りょは）
●潘濬（はんしゅん）
●凌統（りょうとう）
●陸績（りくせき）
●呂範（りょはん）
●張温（ちょうおん）
●周泰（しゅうたい）
●歩騭（ほしつ）
●全琮（ぜんそう）
●徐盛（じょせい）
●甘寧（かんねい）
●張昭（ちょうしょう）
●孫桓（そんかん）
●丁奉（ていほう）
●顧雍（こよう）
●周魴（しゅうほう）
●張休（ちょうきゅう）
●虞翻（ぐほん）
●薛綜（せっそう）
●譚雄（たんゆう）
●馬忠（ばちゅう）
●潘璋（はんしょう）
●闞沢（かんたく）
●朱然（しゅぜん）
●李異（りい）
●朱治（しゅち）
●賈華（かか）
●程秉（ていへい）



●孟獲（もうかく）

知20武89魅39　34才
配下武将7人　統治国36国

●孟優（もうゆう）
●朶思王（だしおう）
●董荼奴（とうとぬ）
●阿会喃（あかいなん）
●金環結（きんかんけつ）
●雍闓（ようがい）
●高定（こうてい）

まだ見ぬ勇将達

シナリオ１から６を通じて初期配下に名をつらねていない勇将が多くいる。彼らは在野武将といって、野に隠れ潜んでいるのである。その在野武将の中でも優秀な３人をここに取り上げた。

姜　維（きょうい）



知力94、武力91、魅力88。どれをとっても文句のつけようのない能力だ。シナリオ１から６を通じてシナリオ開始直後は現れない。途中から在野に登場する

司馬師（しばし）



司馬懿の長男。クーデターを起こし魏の実権を握った。姜維と同じく途中から在野に登場する。知力89、武力66、魅力82。父と同じように知力が高い

龐　統（ほうとう）



知力98は諸葛亮に次いでナンバー２。魅力も高く、ぜひ配下に加えたい。シナリオ１は途中からシナリオ２、３、４は在野に。シナリオ５以降は登場せず

特選36人 君主&武将列伝！

『三國志II』には350人以上の武将が登場する。その中にはとんでもなく使えない愚将から、君主の右腕となって活躍する武将まで様々。最後に選びに選び抜かれた武将30人の能力データをドーンとお見せしよう。君主の中でも特に有能なもの、6人を取り上げてみた。また知力、武力、魅力の各ベスト5を公開。ちなみに知力、武力、魅力の3部門中、諸葛亮と周瑜だけが2部門に顔を出している。

—知力・武力・魅力ベスト5!!—

知力	1位 諸葛亮 100	2位 司馬懿98 龐統98 4位 周瑜97 荀彧97 郭嘉97
武力	1位 呂布 100	2位 関羽99 張飛99 趙雲99 5位 許褚98 馬超98
魅力	1位 劉備 99	2位 諸葛亮98 孫権98 4位 周瑜95 曹操95

曹操
そうそう



字は孟徳。三国志の中で最大の英雄。知勇兼備、人を見る目も確かだった。220年、66才で死亡した。

知力 95　武力 91　魅力 95

劉備
りゅうび



字は玄徳。人を引きつけるものがあり関羽、張飛、趙雲といった有能な部下が多かった。

知力 85　武力 70　魅力 99

孫堅
そんけん



字は文台。勇猛果敢で常に前線で活躍していた。劉表攻撃の際、黄祖の兵の放った矢にあたり死亡。

知力 87　武力 90　魅力 89

孫策
そんさく



字は伯符。孫堅の長男。穏やかな性格と優れた容姿もち、適材適所に人を用いた。26才で死亡した。

知力 88　武力 94　魅力 93

孫権
そんけん



字は仲謀。父孫堅、兄孫策にはないものをもっており、呉を建国。初代皇帝に。250年まで生きた。

知力 89　武力 87　魅力 98

呂布
りょふ



字は奉先。弓馬に優れたものがあり最大の武力の持ち主。裏切りの連続で最後は曹操に処刑された。

知力 25　武力 100　魅力 15

関羽
かんう



字は雲長。前の字は長生。劉備、張飛と義兄弟の契りを結ぶ。劉備のもとで数々の功績を残した。

知力 83　武力 99　魅力 91

張飛
ちょうひ



字は翼徳。その勇猛さには目をみはるものが。しかし粗暴で兵士に厳しかった。部下に暗殺された。

知力 32　武力 99　魅力 35

趙雲
ちょううん



字は子龍。長坂で単身敵陣に乗りみ阿斗(劉禅)を助けている。全身肝と評されるほど度胸がある。

知力 85　武力 99　魅力 92

馬超
ばちょう



字は孟起。父馬騰、弟の馬休、馬鉄は曹操に殺された。残された馬超は敵討ちのために戦いを挑む。

知力 42　武力 98　魅力 60

黄忠
こうちゅう



字は漢升。常に前線で敵陣を陥落させていった。魏の名将、夏侯淵を斬ったことでも知られる。

知力 66　武力 96　魅力 83

夏侯惇
かこうとん



字は元譲。夏侯一族の長老。古くから曹操につき従い、数々の戦績を残した。盲夏侯とも呼ばれた。

知力 59　武力 93　魅力 71

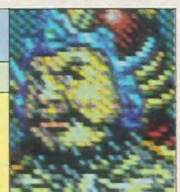
夏侯淵
かこうえん



字は妙才。夏侯惇の族弟。夏侯惇と共に古くから曹操につき従い、次々に手柄を立てていった。

知力 60　武力 90　魅力 71

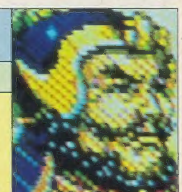
典韋
てんい



字は分からず。悪来と呼ばれるほど凄い怪力の持ち主。仁王立ちのまま天を見て壮絶な死を遂げた。

知力 31　武力 97　魅力 52

顔良
がんりょう



万夫不当の猛将。曹操軍を思うように蹴散らしたがその頃曹操のもとにいた関羽に一撃で斬られた。

知力 27　武力 90　魅力 51

諸葛亮

しょかつりょう

字は孔明。蜀の丞相。その活躍はあまりにも有名。魏の司馬懿と最後まで戦うが五丈原で病死した。

知力 100　武力 65　魅力 98

司馬懿

しばい

字は仲達。孔明と並び評されるほどの知力の持ち主。249年クーデターを起こし実権を握った。

知力 98　武力 67　魅力 93

周瑜

しゅうゆ

字は公瑾。美形であり、孫策の親友。孫策の死後は孫権をよく補佐した。36才、若くして死んだ。

知力 97　武力 78　魅力 95

荀彧

じゅんいく

字は文若。曹操のそばでよく彼に進言し、たびたび勝利に導いた。晩年は曹操と不仲になり死亡。

知力 97　武力 39　魅力 89

郭嘉

かくか

字は奉孝。荀彧に紹介され曹操についた。若くして亡くなった。死後も曹操に慕われたほどの人物。

知力 97　武力 39　魅力 86

龐統

ほうとう

字は士元。孔明が伏竜なら、龐統は鳳雛と呼ばれていた。孔明に匹敵するほどの才の持ち主だった。

知力 98　武力 61　魅力 87

徐庶

じょしょ

字は元直。劉備に才能を評価されるが曹操に母を捕らえられ孔明を紹介してやむなく曹操についた。

知力 96　武力 64　魅力 85

陸遜

りくそん

字は伯言。その実力で丞相にまでなったが、最後は後継者争いに巻きこまれ孫権と不和になり憤死。

知力 96　武力 81　魅力 85

魯粛

ろしゅく

字は子敬。周瑜の推薦で孫権に仕える。「赤壁の戦い」で曹操を敗ったのは周瑜と魯粛の功である。

知力 96　武力 63　魅力 92

呂蒙

りょもう

字は子明。周瑜、魯粛に続いて呉の指揮官になった。陸遜と共に関羽を敗ったが、その後病に……

知力 86　武力 83　魅力 86

甘寧

かんねい

字は興覇。呉きっての勇将。しかし粗暴ですぐに人を殺した。呂蒙は彼のよき理解者であった。

知力 51　武力 92　魅力 52

太史慈

たいしじ

字は子義。弓術に優れ、数々の働きをした。その昔、孫策と互角の戦いを演じたこともある。

知力 68　武力 95　魅力 71

魏延

ぎえん

字は文長。抜群の武勇をもっており劉備の時代から様々な活躍をした。最後は馬岱に斬り殺された。

知力 48　武力 94　魅力 58

姜維

きょうい

字は伯約。蜀の名将。始めは魏についていた。孔明の死後、最後まで魏と戦ったが力つきた。

知力 94　武力 91　魅力 88

許褚

きょちょ

字は仲康。典韋と同じく曹操軍の親衛隊長。曹操に可愛がられ、許褚もそれに応える働きをした。

知力 20　武力 98　魅力 66

張遼

ちょうりょう

字は文遠。呂布が曹操に捕まったとき一緒に殺されそうになったが関羽が助け以来親友になった。

知力 80　武力 91　魅力 80

徐晃

じょこう

字は公明。初めは楊奉配下だったが、後曹操に仕えた。次々に戦功をあげ、曹操に信任された。

知力 45　武力 92　魅力 68

張郃

ちょうこう

字は儁乂。袁紹のもとにいたが「官渡の戦い」で曹操軍に寝返った。街亭では蜀の馬謖を敗った。

知力 69　武力 90　魅力 61

龐徳

ほうとく

字は令明。馬騰配下だったがその後、馬超、馬岱らとは別れ曹操についた。関羽といい勝負をした。

知力 64　武力 94　魅力 71

鄧艾

とうがい

字は士載。司馬懿に見出されて、おおいに活躍した。蜀の姜維の攻撃をたびたび退けたことも有名。

知力 94　武力 86　魅力 79

美女

びじょ

字は…あるわけがない。さてさていったい彼女は誰でしょう。知っている人は知っているよネ。

知力 ー　武力 ー　魅力 ー

平成2年8月10日発行(毎月1回10日発行)第4巻第8号(通巻41号)昭和62年9月11日第三種郵便物認可

CONTENTS



MSX·FAN

8月号 特別付録

●光栄●044-61-6861●発売中

●媒体/ディスク2枚組	●媒体/8メガロム
●対応機種/MSX2/2+	●対応機種/MSX2/2+
●VRAM/128K	●VRAM/128K
●セーブ機能/ディスク	●セーブ機能/内蔵SRAM・テープ
●価格/14,800円	●価格/14,800円

※CD付きはどちらの媒体も17,200円です。